

アピール (案)

本日、私たち協同組合に働く者の産業別組織と単組は一堂に会し、「協同組織産別・単組シンポジウム」を開催した。

本シンポジウムでは、無軌道な市場原理主義が、国民・勤労者、中小事業者から健全な生活や労働、経済活動などを奪い、人間の尊厳を疎外している実態を学んだ。そして、地域や職域を基盤として、相互扶助とコミュニティを重視する協同組合は、人と人との連携によって成り立つ組織・事業であり、市場原理主義に代わって協同組合を社会経済システムの一員に位置づける重要性を改めて確認した。

世界中が混乱に陥ったリーマンショックは、実体を伴わないマネーゲーム的経済システムがもたらしたものである。行きすぎた競争原理は、ここ日本に於いても労働法制の一層の規制緩和や弱肉強食の社会を産み出し、格差と貧困が拡大している。

また、市場原理を推し進める米国が主導するTPPは、労働規律や食の安全をはじめとして、国民の生命や健康、生活にも重大な影響を与える懸念がある。加えて、市場原理主義・新自由主義を背景にして、平和や安心・安全な社会が脅かされつつあることも看過できない。

だからこそ、私たちが働くそれぞれの協同組合は、その意義を現代に活かすため、地域の生産活動をはじめとして、生活や金融・保障を担う協同組合運動としての旗を高く掲げなければならぬ。労働組合と協同組合は、同じ時代に同じ目的を持って生まれた組織であり、労働者の生命・健康・生活を守る砦として、社会課題にもその機能を発揮して来た。

私たちは、協同組合運動の連帯・共同を目指す。そのために、労働者の結集体である産別・単組の団結を強化する必要がある。

このシンポジウムは小さな旗揚げに過ぎない。しかし、この集まりが労働運動の強化と協同組合の発展につながるよう、私たちはさらなる連携と活動の強化を誓い合い、アピールする。

2013年6月21日

これからの協同組合を考える協同組織産別・単組シンポジウム

全国農林漁業団体職員労働組合連合
全国労働金庫労働組合連合会
全国信用金庫信用組合労働組合連絡会議
全国労済労働組合連合会
コープこうべ労働組合
コープさっぽろ労働組合